

2022

1

令和4年

フレッシュ

旭川印刷製本工業協同組合

北海道印刷工業組合旭川支部

この広報は従業員にも掲示回覧してください。

事務局 旭川市7条通23丁目 電話0166-31-5581

頌春

紙はみんなが共通して手にできます。紙はどこでも見ることができます。紙はいつまでも見ることができます。

紙の力を持続します。

旭川印刷製本工業協同組合

北海道新聞に意見広告

北海道新聞1月9日朝刊道央版に意見広告を出しました。材料費の大幅な値上げにご理解を得ようというものです。刷版インキなどはすでに値上がりし、用紙も王子製紙を除いて全てのメーカーが値上げを表明、末端価格に反映されるのは時間の問題となりました。

組合員にあっては、事情を丁寧に説明し、見積りの見直しをしてください。

旭川市に資材の値上状況陳情

12月20日旭川市契約課に印刷材料値上がりの状況とそれに伴う印刷価格の影響についてお願いに、当組合から植平理事長、鍛冶澤専務理事、細木副理事長、中野理事、井田理事の5名が伺いました。市役所側からは川辺仁総務監はじめ齋藤淳起総務課長、田口剛契約課物品担当主幹、東藤沙織契約課員が出席して、情報交換を行いました。川辺総務監からは、事情はよくわかったので、値上げを回避する方法があれば提案して頂きたい旨の発言がありました。

POD活用勉強会2月18日

セールス部会ではPOD活用の勉強会として富士フィルムビジネスイノベーション(旧ゼロックス)を講師に開催する予定です。詳細は追ってお知らせいたします。

組合メモ帳を障害福祉課に寄贈

当組合で製作したブロックメモ200個を障害福祉課(福祉灯油担当)に寄贈しました。電話オペレータの対応時などに大いに利用したいとのことです。

北海道印刷関連業新年交礼会開催

1月7日札幌グランドホテルで道内の印刷関連業11団体と関連企業が一同に会して、新年交礼会が開催されました。昨年はコロナまんえんのため中止を余儀なくされましたが、今年は予想を上回る120名もの出席があり、業界回復の意欲をたぎらせておりました。

印刷価格についてご理解を

印刷材料が軒並み値上がりしています。用紙も大幅な値上げが見込まれます。印刷業界では早くからデジタル化を進め、工程を大幅改善し、加えて工程の省力化、用紙など材料のムダ排斥に取り組み印刷価格を圧縮してきたところですが、このところの大幅な材料費の高騰や人件費の上昇によって価格を見直しせざるを得なくなっています。状況に応じて現在の見積価格を見直しさせていただきますので、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

旭川印刷製本工業協同組合

事務局 〒078-8217 旭川市7条通23丁目左1号 phone:0166-31-5581 Fax:0166-31-6227

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 朝あいワプリント | 朝金子シール | 朝常盤製本 |
| あさひ印刷 | 朝木印刷 | 朝ドック |
| 朝旭川アートプロセス | 朝山記 | 中村印刷 |
| 旭川カーボン印刷 | 朝すなだ製本 | 朝ネクスTRIュンション |
| 朝旭川坂野 | 朝総合企画 | 廣本印刷 |
| 朝旭川田中シル印刷 | 朝旭川北 | 廣田印刷 |
| 旭川特殊印刷 | 大和印刷 | 朝アコム旭川 |
| 朝旭川ビジネス | 朝島総合製本所 | 朝プリントファクトリー |
| 旭川福祉屋 | 会川印刷 | 朝ネッコ |
| 朝井田印刷工房 | 東信印刷 | 朝マルシ印刷 |
| 朝平印刷 | 朝東洋印刷 | |
| 朝岡本印刷 | 朝洋オフセット | |

- <2021年値上り状況>
- 9月1日 ダイヤミック印刷材料 10～12%値上げ
 - 10月1日 最低賃金引上げ
 - 10月1日 竹尾製品一部値上げ(大王製紙関連)
 - 10月1日 富士フィルム印刷材料 10～15%値上げ
 - 10月1日 リンテックシール材 10%値上げ
 - 10月18日 DICインキ 15%値上げ
 - 11月4日 日本製紙 1月1日から15%以上値上げ表明
 - 11月9日 大王製紙 1月21日から15%値上げ表明
 - 11月9日 三菱製紙 1月1日から15%以上値上げ表明
 - 11月26日 政府 3%の賃上げ要請
 - 12月15日 TOYOインキ 20～30%値上げ
- *値上げに幅があるのは製品によって値上げ率が変わります。
*用紙価格は王子製紙の正式表明がないため価格が決まっていません。

広告のデータは組合ホームページからダウンロードできます。プリントして利用して下さい。

この広告には入っていませんが、12月6日に北越が値上げ表明をしています。王子や日本製紙を除く用紙はすでに値上がりしていますので注意して下さい。尚、日本製紙製品は1月21日から実質値上げです。

1月21日予定の新年交礼会は延期致します。

オイルショックの時代

今回の諸物価高騰は燃料(主に石油)の高騰にあります。産油国の政治的駆け引きにも利用され、世界を震撼させています。アメリカもサウジと同じくらい原油生産しているのだから、どうにかならないのでしょうか。70年代と違い、石油などの燃料が第1次産業から多方面に必要とされていることが顕在、加えて今回は脱炭素が向かい風になっています。

オイルショックというと1973(昭和48)年秋に全国で起きたトイレトーパー買いだめ騒動が思い出されます。石油不足による強い不安感が人々を襲ったのでしょう。大阪のニュータウンの映像が典型的な状況としてよく放送されます。第4次中東戦争で原油価格が高騰したことが原因でしたが、実はその前から物価は10%以上あがっていました。日本列島改造論で土地価格が急上昇していました。便乗値上げも問題になりました。政府は石油の節約を訴えました。私の記憶ではガソリン価格がどんどん上がり80円台が130円台になり、給与(20歳で2万4千円だった)も4年間で3倍以上になりました。多分経営陣は販売価格の改定に尽力したものだと思われま。

石油以外のエネルギーを求めるのは当然で、太陽光や風力、波力といった新しいエネルギーを得ようとサンシャイン計画などができたが、半世紀も経つのにあまり進んでいないように思います。原子力利用も震災以来なりをひそめてしまいました。むしろ進んでいるのは、省エネの方で、電動機は消費電力が大幅に改善され、照明は蛍光灯が主体となり、さらにLEDに置き換わっています。テレビはブラウン管から液晶に変わり、自動車はガソリン消費が少なくなりました。こうした省エネ技術がエネルギーを支えています。新エネルギーはなかなか前に進みません。

当時の印刷業はどうだったのでしょうか。

1973(昭和48)年6月23日付旭川印刷製本工業協同組合ニュースは当時の植平尚元理事長名で「適正利潤の確保について」を訴えています。

印刷用紙の値上げと原材料の高騰其の他あらゆる物価の上昇で、従来の過当競争による低廉なる受注価格にては切迫せる死活問題を解決することが出来ず、これが解決策として、幸いセールス各位が非常時局を認識され、適応利潤追求のため長期間に亘り料金問題の研究に取組み適正利潤

算出の「しおり」を作成、説明会を催し、又一面ユーザーに対しては「お願い要請文」を発送するなど適正利潤の確保に努めてまいりましたが、其の後、物価安定のしよ光は見えざるのみか、かえって、紙材料の高騰は日増しにつのり、加えて、肝をつぶすような大巾値上げの最低賃金が決定され、7月1日より実施という最悪の事態に到達し、もはや企業の経営は風前の灯同様で、好むと好まざるとに拘わらず、再度価格改定の必要に迫られましたので、再びセールス各位の手を煩し現下の諸情勢に適応したる適正利潤確保のため「しおり」を作成し、之が説明会を兼ね見積勉強会を開催いたし緊迫せる事態を更に認識したような次第であります。要は此の際組合員各自が小異を捨てて大同につき、打って一丸となり、適正利潤確保と云う共存共栄の実を挙げるようお互いに努力致しませう。(組合報縮刷版①p131)

紙は値上がりだけでなく供給不足もあったようです。井田 オイルショックの後で紙を協同購入しましたよね。あれは協同組合の事業ですか。

石田 あれは植平さんが個人でやったんだ。あの雪の降る日、植平さんの前にどーんと朝鮮の紙。結果的にはよくない紙だったけどね。(旭川の印刷70年p116)

歴史は繰り返すのでしょうか。供給不足だけは勘弁して欲しい。

<事務局日誌>

- 1月 5日 市・会議所新年交礼会(中止)
- 1月 6日 日印産連新年交礼会(東京)
- 1月 7日 道印刷関連業新年交礼会(札幌)
- 1月12日 第8回理事会
- <予定>
- 1月21日 新年交礼会(アートホテル旭川)
- 2月2日~4日 PAGE2022(東京)
- 2月 9日 第9回理事会
- 2月10日 北印工組三役会
- 3月 4日 北印工組理事会
- 3月 4日 北印工組下期地区協議会
- 3月11日 全印工連組織共済委員会(大阪)